



当たり前ってなんだ？

前号の通信では、パラオではなかなか予定通りにイベントが始まらないことが『当たり前のこと』と紹介しました。日本の影響を大きく受けている部分も多いパラオですが、時間に関する感覚的なものは、日本とは大きく異なっているなあ…と常々感じます。

パラオの人たちはとても大らかです。人を待つ、待たせるということに関しても、その大らかさが現れています。例えば、予定時刻になっても人が集まらない、イベントが始まらないことやその日になって会議などの大事な予定を伝えられたり、逆にもともと予定されていたものが直前で変更・中止になることも日常茶飯事です。日本では当たり前のことだと思っていた、『時間を守る』という感覚がパラオでは全然違うものでした。同僚とそのことについて話をした際には、『私たちはリラックスして仕事をするを一番大切にしているからね』と言っていました。

どちらが良い、悪い、正しい、正しくないではなくて、それぞれの国で大切にしていることが違うのだ、と捉えると、また見方が変わるなあ…と気づかされました。もしかしたら、みなさんの日常の中にも同じように感じることもあるかもしれませんね。



【パラオ日記】

★10月1日はパラオの独立記念日（今年で29年！）ということで、朝5時半スタートの5kmマラソン、出店、ポートレース、花火とイベントがたくさん行われていました。ポートレースや花火は年1回、独立記念日のみに行われるイベントということで、人もたくさん集まって盛り上がっていました。



👉10月は乳がん検診促進月間ということで、ピンクリボンならめピンクウェアを着てマラソンに参加している人が多くいました。

★9月から10月にかけて、ラグビーのワールドカップが行われていましたね。パラオでも他の隊員と集まって日本代表の試合を観戦するなど、盛り上がりました。フィジーやサモアなど近隣の島国が活躍する一方で、パラオではラグビーはメジャーなスポーツではありません。しかし今月、オーストラリア大使館が主催となり、いくつかの小学校でラグビーの授業を行いました。初めてラグビーをするという生徒が多く、ルールなどに戸惑いながらも、みんなとても楽しんで行っていました！



今も続く！パラオで Undokai（運動会）

パラオ通信第9号でも出てきたアンガウル島では、毎年ウドーカイ（パラオ語）が行われています。これは日本統治時代の名残で、島内外から多くの人に参加する大きなイベントです。アンガウル州憲法ではパラオ語と英語に加え、なんと日本語が公用語として定められています。（ただ、日本語を話せる島民はもうほとんどいないそうです…）そんなアンガウル島での運動会に、今回サポートという立場で参加させていただくことができました。



朝イチのラジオ体操に始まり、台風の目・パン（スナック）食い競争、ダンシング玉入れをみんなで行いました。昼休みには、みんなで炭坑節を踊って盛り上がりました！👏



／／みんなで気合のハチマキ！＼＼

👏一緒に参加した健康運動実践指導隊員（生活習慣改善を目的としてコミュニティ向けに運動の指導を行う隊員）は朝5時半から大人向けの運動セッションを、野球隊員（野球の普及を目的として活動する隊員）は生徒に野球の指導をするなど、運動会以外にも様々な場面で島民と交流を行いました。

アンガウル小学校の生徒数は20名以下ですが、当日は地域の方々も多く参加されて楽しい運動会になりました。運動会の5日前にアンガウル島までボートで行き、学校の図書館に寝泊りさせていただきながら（意外と快適！）何度か生徒たちと練習を行いました。台風が近づいていたということで天気心配されていましたが、運動会当日は晴天！しかし、次の日に乗る予定だったボートが欠航に…予定より長めの8泊9日、アンガウル島の観光も楽しみながら、島の人たちの優しさに触れながら、子どもたちに癒されながら、ゆっくりと過ごすことができました。